



区民による身近な生物調査ロゴマーク

みんなで探して発見! 身近な自然

いつもいきもの情報をありがとうございます。
 いただいた情報は、貴重な記録として集約いたしております。
 紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
 みなさんが発見したいいきものや自然情報をご紹介します!
 みなさんはどんな発見をしましたか? ふりかえってみましょう!

今年はどうな発見があったかな?



オオスカシバ (スズメガ科)

令和3年8月21日に
自由が丘3丁目
で目撃



令和3年8月26日に中目黒公園で
花の蜜を吸っているところを目撃

透明なはねですが、羽化直後には
茶色のりん粉がついています。



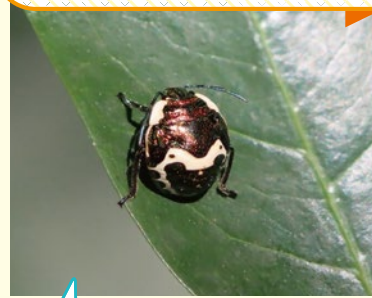
ツミ (タカ科)



令和3年10月23日に
東が丘1丁目
で目撃

やや高い山から平地の林に住み、
市街地内の樹林でも見られます。

アカスジキンカメムシの幼虫 (キンカメムシ科)



令和3年11月6日に
林試の森公園で目撃

成虫は金緑色で赤色の斑紋に
なります。

アオダイショウ (ナミヘビ科)

アオダイショウの子
ども(幼蛇)です。
子どもの時は、はしご
状の模様がついてい
ます。

令和3年5月に
駒場野公園で目撃



ハシボトガラス (カラス科)

おでこくちばしが
段になって見える、く
ちばしの太いカラス。
ちなみに、くちばしが
細いハシボソガラス
という種類もいます。



オオカマキリ (カマキリ科)



令和3年8月5日に鷹番3丁目
で目撃 (自宅の屋上)

林のふちや周辺の草地に生息
しています。



ハゼノキ (ウルシ科)



令和3年10月3日に洗足1丁目
で紅葉している様子を目撃

メジロ (メジロ科)



令和3年8月4日に自宅
(上目黒5丁目)の庭の
木にて巣を発見、8月
13日に巣立ちを確認し
た。(自然通信員より)

子育て中の
メジロの様子
です。



いきもの情報 集計結果!

今年は暮らしに役立つ身近なハチというテーマでみなさんに情報を送ってもらい、113件集まりました。
どんな場所で情報が集まったか
見てみましょう。



アシプトハナアブ



セイヨウミツバチ



クマバチ



コマルハナバチ



フタモンアシナガバチ



花のたくさん
咲いている公園などで
多く確認され
ました。

他にはこんなハチの情報も
寄せられました!



サトセナガアナバチ
(菅刈公園にて)



サトジガバチ
(中目黒公園にて)

種類	数	こんな場所で見られました
ミツバチのなかま	13	中目黒公園、目黒川、柿の木坂など
クマバチのなかま	21	中目黒公園、下目黒、碑文谷など
ハナバチのなかま	4	駒場野公園、鷹番児童遊園など
アシナガバチのなかま	14	駒場野公園、目黒川、東が丘など
ツチバチのなかま	12	中目黒公園、下目黒、鷹番など
ハナアブのなかま	24	中目黒公園、鷹番、大橋など
その他 (スズメバチやハバチなど)	25	駒場野公園、中目黒公園、駒沢オリンピック公園、菅刈公園など

目黒区内の生物多様性事業について

目黒区内で行われている生物多様性事業・活動を紹介します。

① 駒場野公園

駒場野公園自然クラブ

駒場野公園自然クラブでは、駒場野公園に生息しているいきものを守るために、決められたエリアを「粗朶(そだ)柵」で囲いました。

そだ
粗朶とは

切り取った
木の枝のこと

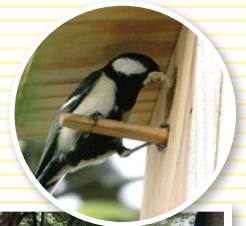


② 菅刈公園

椎 塾

菅刈公園では菅刈ネット21という団体が椎塾という名称で活動しています。

この活動の中で、目黒区の鳥「シジュウカラ」の巣箱を作り、菅刈公園内に設置しました。



④ 碑文谷公園

生物多様性保全林事業

生物多様性保全林*事業として、碑文谷公園で生物調査を実施しました。公園内にある原っぱは、近隣の鷹番小学校の生徒さんと一緒に調査しました。



※生物多様性保全林とは

区内でいきものの生息拠点となっている場所を保全するため、公園や公共施設等で、持続性がある一定規模以上の緑地についてエリアを指定し、みどりの保全やいきものの生息拠点としての機能向上を図る取組を進める事業です。目黒区では、これまで、菅刈公園、駒場野公園を生物多様性保全林に指定しています。

③ 中目黒公園

いきもの住民会議

9月19日、中目黒公園にてハチの観察会を実施しました。

ツチバチに巣として使ってもらえるように、竹筒を事前に設置しました。



スズメバチの観察は危ないので、講師の先生に獲っていただき、厚手のジップブロックに入れて観察しました。

